

2022年3月期 第3四半期 決算説明

三菱ケミカルホールディングス

2022年2月3日

2017年3月期 第1四半期よりIFRS (指定国際会計基準) を適用しております。

目次

<2022年3月期 第3四半期 連結決算>

・連結損益計算書	・・・ 4
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	・・・ 5
・コア営業利益（全社）増減要因	・・・ 6
・事業セグメント別 業績概要	・・・ 7
・非経常項目	・・・ 11
・連結キャッシュ・フロー計算書	・・・ 12
・連結財政状態計算書	・・・ 13

<参考資料①>

・連結損益計算書 四半期別推移	・・・ 15
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移	・・・ 16
・各報告セグメントの事業部門	・・・ 17
・経営指標推移	・・・ 18

<参考資料② 田辺三菱製薬 決算概要>

・2021年度 第3四半期 決算概要	・・・ 23
--------------------	--------

2022年3月期 第3四半期 連結決算

連結損益計算書

為替レート (¥/\$)	
ナフサ単価 (¥/kl)	

114.2	111.5	104.0	105.5
60,700	53,900	31,300	28,800

108.9	5.9	6%	2.6
42,300	25,100	87%	11,600

(億円)

	22/3月期 3Q累計		21/3月期 3Q累計		20/3月期 3Q累計	増減	増減率	増減 対20/3月期 3Q累計
	3Q		3Q					
継続事業*2								
売上収益	10,152	29,003	8,506	23,554	27,308	5,449	23%	1,695
コア営業利益 *1	628	2,189	590	1,136	1,810	1,053	93%	379
非経常項目	23	△ 7	△ 302	△ 1,129	△ 204	1,122		197
営業利益(△損失)	651	2,182	288	7	1,606	2,175	—	576
金融収益・費用	△ 41	△ 100	△ 48	△ 135	△ 159	35		59
(内、受取配当金)	(9)	(48)	(7)	(35)	(41)	(13)		(7)
(内、為替差損益)	(2)	(9)	(△ 3)	(△ 7)	(△ 24)	(16)		(33)
税引前利益(△損失)	610	2,082	240	△ 128	1,447	2,210	—	635
法人所得税	△ 156	△ 609	△ 125	△ 156	△ 533	△ 453		△ 76
継続事業からの四半期利益(△損失)	454	1,473	115	△ 284	914	1,757		559
非継続事業からの四半期利益	-	-	-	-	169	-		△ 169
四半期利益(△損失)	454	1,473	115	△ 284	1,083	1,757		390
親会社の所有者に帰属する 四半期利益(△損失)	369	1,221	19	△ 478	763	1,699	—	458
非支配持分に帰属する四半期利益	85	252	96	194	320	58		△ 68
	41	137	42	53	107	84		30

*1 内、持分法投資損益

*2 非継続事業に係る数値を控除しております。

コア営業利益は、営業利益(又は損失)から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出しております。

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

(億円)

		22/3月期			22/3月期 3Q累計	21/3月期 3Q累計	増減
		1Q	2Q	3Q			
全社	売上収益	9,283	9,568	10,152	29,003	23,554	5,449
	コア営業利益	887	674	628	2,189	1,136	1,053
ポリマーズ&コンパウンズ	売上収益	801	788	766	2,355	1,951	404
	コア営業利益	80	38	11	129	95	34
フィルムズ&モールディングマテリアルズ	売上収益	1,202	1,179	1,197	3,578	3,025	553
	コア営業利益	153	118	72	343	212	131
アドバンストソリューションズ	売上収益	828	869	859	2,556	2,238	318
	コア営業利益	33	36	34	103	123	△ 20
機能商品	売上収益	2,831	2,836	2,822	8,489	7,214	1,275
	コア営業利益	266	192	117	575	430	145
MMA	売上収益	776	734	733	2,243	1,658	585
	コア営業利益	123	125	47	295	59	236
石化	売上収益	1,604	1,718	1,899	5,221	3,292	1,929
	コア営業利益	160	105	71	336	△ 124	460
炭素	売上収益	539	569	646	1,754	1,302	452
	コア営業利益	65	44	95	204	△ 25	229
ケミカルズ	売上収益	2,919	3,021	3,278	9,218	6,252	2,966
	コア営業利益	348	274	213	835	△ 90	925
産業ガス	売上収益	2,168	2,273	2,425	6,866	5,875	991
	コア営業利益	238	245	256	739	589	150
ヘルスケア	売上収益	984	1,001	1,136	3,121	2,997	124
	コア営業利益	47	△ 36	35	46	224	△ 178
その他	売上収益	381	437	491	1,309	1,216	93
	コア営業利益	△ 12	△ 1	7	△ 6	△ 17	11

*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

*2 22/3月期1Qより中長期経営基本戦略「KAITEKI Vision30」における成長事業領域に対応した組織体制の構築に伴い、機能商品の内訳を従来の「機能部材」、「機能化学」の2区分から、「ポリマーズ&コンパウンズ」、「フィルムズ&モールディングマテリアルズ」、「アドバンストソリューションズ」の3区分に変更しております。同時に、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直しており、比較情報としての21/3月期実績を組み替えております。

【受払差】

ポリマーズ&コンパウンズ	10	9	8	27	0	27
石化	90	74	90	254	△ 146	400
炭素	△ 6	11	44	49	△ 13	62
合計	94	94	142	330	△ 159	489

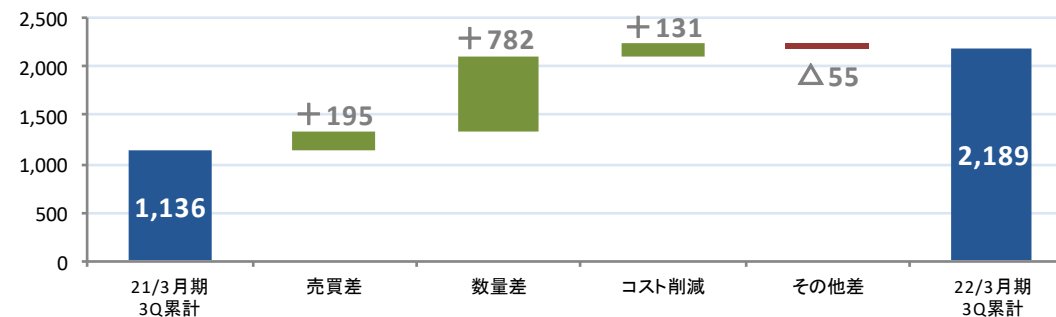
コア営業利益 (全社) 増減要因

(億円)

	22/3月期 3Q累計	21/3月期 3Q累計	増減				
			増減	売買差	数量差	コスト削減	その他差 *1
全社	2,189	1,136	1,053	195	782	131	△ 55
機能商品	575	430	145	△ 88	296	30	△ 93
ケミカルズ	835	△ 90	925	323	173	74	355
産業ガス	739	589	150	23	174	1	△ 48
ヘルスケア	46	224	△ 178	△ 65	120	26	△ 259
その他	△ 6	△ 17	11	2	19	0	△ 10

*1 その他差には、受払差・持分法投資損益差等の金額が含まれております。

為替影響	25	89	4	-	△ 68
うち換算差		55			

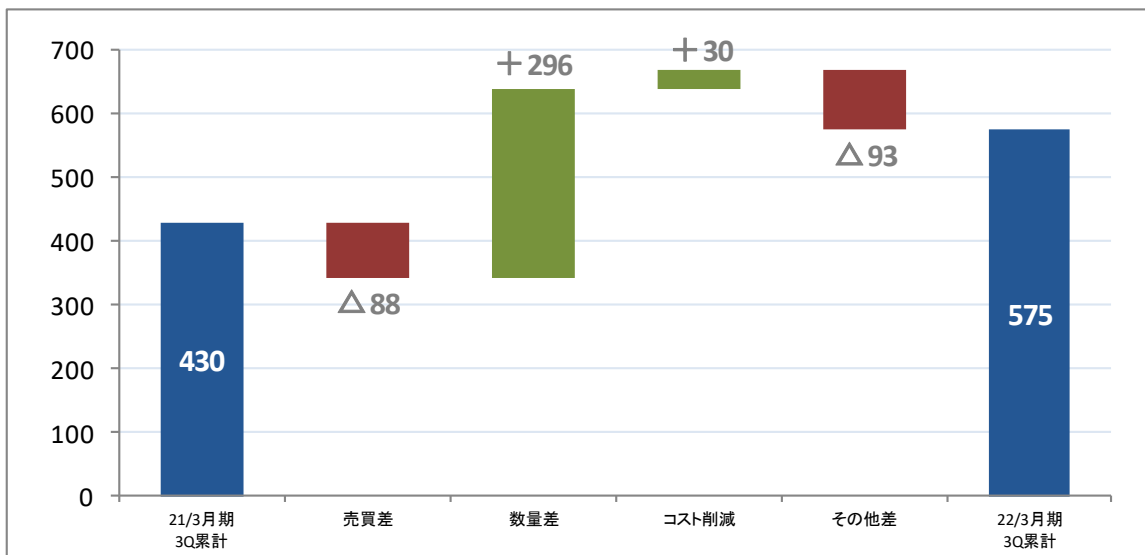


機能商品セグメントの業績概要

(億円)

		22/3月期 3Q累計	21/3月期 3Q累計	増減
ポリマーズ & コンパウンズ	売上収益	2,355	1,951	404
	コア営業利益	129	95	34
フィルムズ & モールディング マテリアルズ	売上収益	3,578	3,025	553
	コア営業利益	343	212	131
アドバンスソリューションズ	売上収益	2,556	2,238	318
	コア営業利益	103	123	△ 20
機能商品	売上収益	8,489	7,214	1,275
	コア営業利益	575	430	145

<コア営業利益 増減要因>



<セグメント内識別 業績概要>

ポリマーズ & コンパウンズ	売上収益	自動車向け等の販売数量が増加したことに加え、ポリマーズの一部製品における市況が上昇。
	コア営業利益	パフォーマンスポリマーズ等の自動車向け販売数量増加等により増益。
フィルムズ & モールディング マテリアルズ	売上収益	モールディングマテリアルズの自動車向け等を中心に販売数量が増加したことに加え、フィルムズのディスプレイ向け光学用途等が上期を中心に好調に推移。
	コア営業利益	原料価格の上昇はあったものの、販売数量の増加により増益。
アドバンス ソリューションズ	売上収益	経済活動の回復に伴い販売数量が増加。
	コア営業利益	販売数量の増加あるも、原料価格上昇等により減益。

<トピックス>

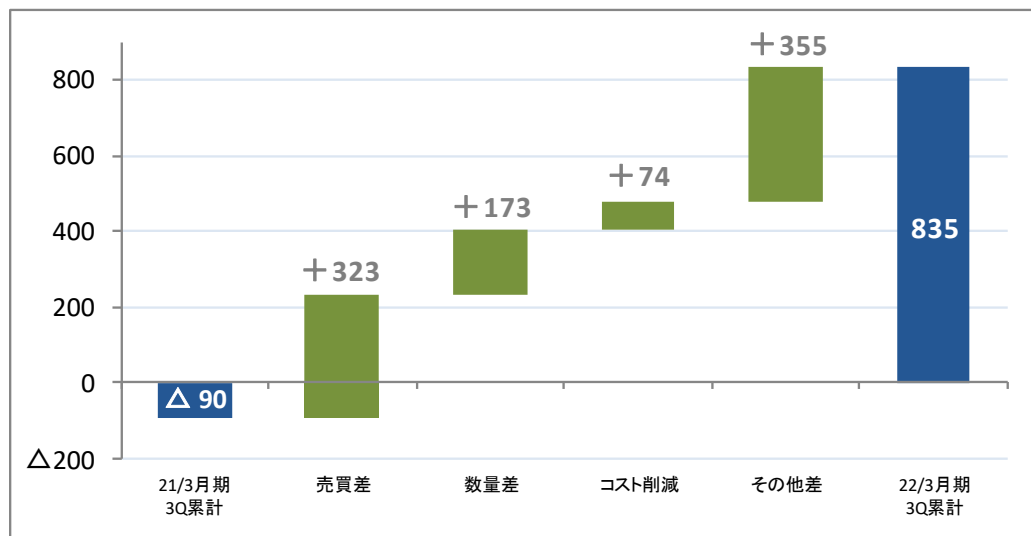
- 三菱ケミカル社は、福岡事業所において、シュガーエステル新たな製造設備(年産2,000トン)を建設することを決定。2023年央の稼働を目標とする。
- 三菱ケミカル社は、同社と三菱ケミカルハイテクニカ社の結晶質アルミナ繊維事業を、Apollo Global Management社の関連会社が投資助言するファンドが保有する特別目的会社へ譲渡することについて2021年9月に合意。
- 三菱ケミカル社は、Mitsubishi Polyester Film GmbHにおいて、今後も世界的に需要拡大が見込まれるポリエステルフィルムの生産能力増強(ドイツ年産:5.5万トン→8.2万トン)を行うことを決定。2024年末の稼働を目標とする。
- 三菱ケミカル社は、同社の福岡事業所に半導体封止材・電子材料向け特殊エポキシ樹脂の新たな生産拠点を設けることを2021年12月に決定。2023年4月の商業生産開始を目標とする。

ケミカルズセグメントの業績概要

(億円)

		22/3月期 3Q累計	21/3月期 3Q累計	増減
MMA	売上収益	2,243	1,658	585
	コア営業利益	295	59	236
石化	売上収益	5,221	3,292	1,929
	コア営業利益	336	△ 124	460
炭素	売上収益	1,754	1,302	452
	コア営業利益	204	△ 25	229
ケミカルズ	売上収益	9,218	6,252	2,966
	コア営業利益	835	△ 90	925

＜コア営業利益 増減要因＞



＜セグメント内識別 業績概要＞

MMA	売上収益	需要が堅調に推移する中、MMAモノマー等の市況が上昇。
	コア営業利益	MMAモノマー等の市況上昇に伴う原料と製品の価格差拡大等により増益。
石化	売上収益	原料価格の上昇に伴い販売価格が上昇したことに加え、エチレンセンターの定期修理の影響が縮小したことや需要の回復による販売数量増加により、増収。
	コア営業利益	定期修理の影響縮小や販売数量の増加、原料価格上昇に伴う受払差の改善により増益。
炭素	売上収益	需要の回復に伴い販売数量が増加したことに加え、輸出コークスの販売価格が上昇。
	コア営業利益	輸出コークス等の市況上昇等により増益。

＜トピックス＞

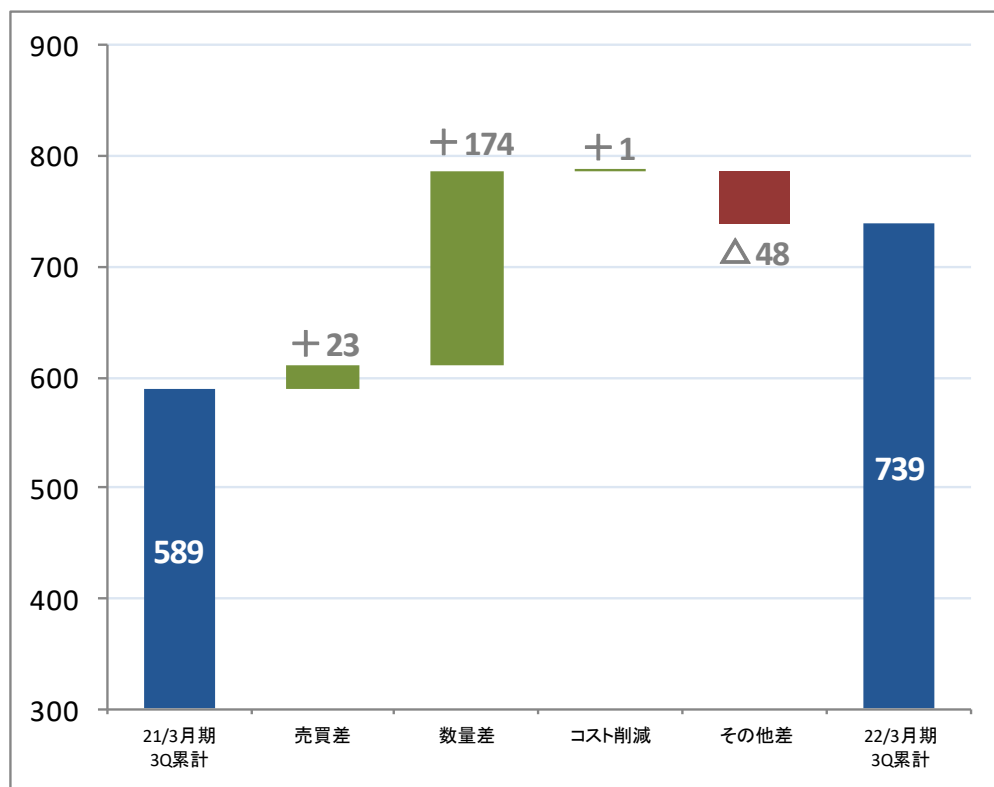
- 日本ポリケム社は、日本ポリプロ社が保有し、ポリプロピレンコンパウンド及びガラス長繊維強化熱可塑性樹脂事業を展開するマイテックス・ポリマーズ・ユーエス社など海外グループ会社6社の株式を取得することを2021年4月に決定し、同年7月に完全子会社化。
- 三菱ケミカル社及び三菱ケミカルメタクリレーツ社は、アクリル樹脂のケミカルリサイクルの事業化に向け、実証試験を進めることを2021年5月に決定。両社は、アクリル樹脂の回収、そのケミカルリサイクル及び再利用について、本田技研工業社とともにスキームの検討を進めており、リサイクルシステムの実証試験についても共同で実施する予定。
- 三菱ケミカル社とENEOS社は、プラスチック油化共同事業の開始に向けて、商業ベースでは国内最大規模となる年間2万トンの処理能力を備えたケミカルリサイクル設備を三菱ケミカル社茨城事業所に建設することを2021年7月に決定。2023年度稼働目標。本設備の建設に伴い、リファインバース社と、原料となる廃プラスチックを調達する基本合意書を2021年7月に締結。

産業ガスセグメントの業績概要

(億円)

		22/3月期 3Q累計	21/3月期 3Q累計	増減
産業ガス	売上収益	6,866	5,875	991
	コア営業利益	739	589	150

＜コア営業利益 増減要因＞



＜セグメント内識別 業績概要＞

産業ガス	売上収益	国内外の需要が総じて回復。
	コア営業利益	国内外の需要が総じて回復したことにより増益。

＜トピックス＞

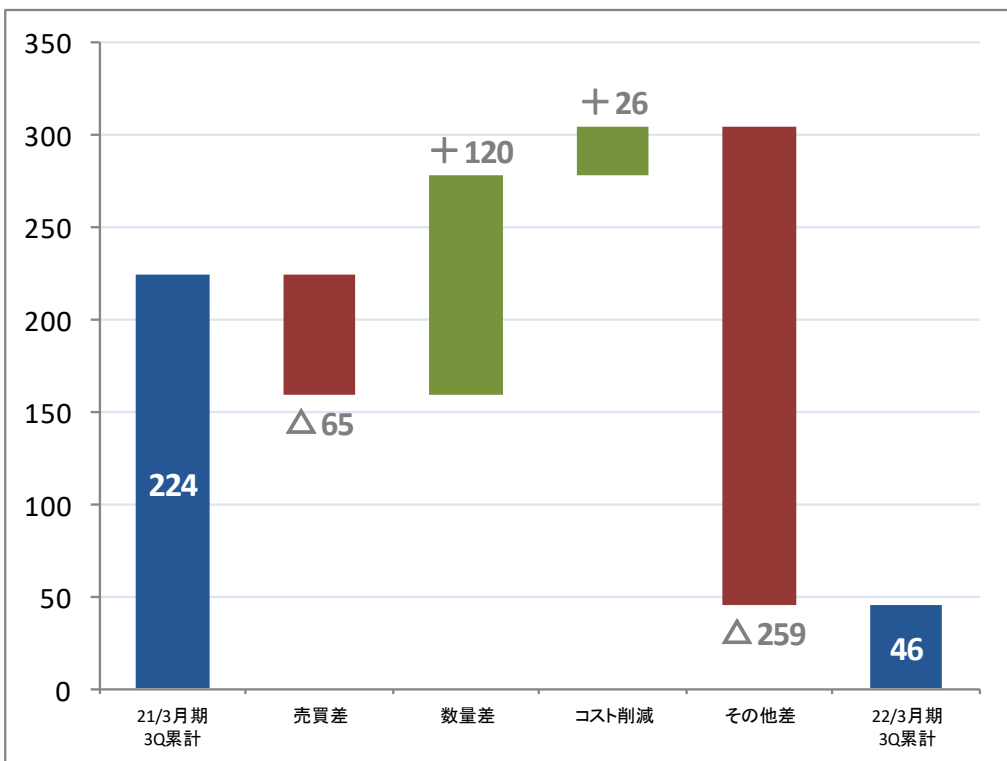
- 日本酸素ホールディングス社は、日本、韓国、中国において、半導体デバイスの製造プロセスで使われる電子材料ガスであるジボランガスの製造能力を、2023年末までに順次増強することを2021年11月に決定。

ヘルスケアセグメントの業績概要

(億円)

		22/3月期 3Q累計	21/3月期 3Q累計	増減
ヘルスケア	売上収益	3,121	2,997	124
	コア営業利益	46	224	△ 178

<コア営業利益 増減要因>



<セグメント内別 業績概要>

ヘルスケア	売上収益	国内医療用医薬品で薬価改定等の影響を受けたものの、重点品の販売数量が伸長したこと等により増収。
	コア営業利益	新型コロナウイルスワクチンの研究開発費の増加等により減益。

注) 多発性硬化症治療剤「ジレニア」のロイヤリティ収入については、2019年2月に仲裁手続きに入ったため、IFRSの収益認識基準に従いロイヤリティ収入の一部について売上収益の認識を行っておりません。

<トピックス>

- 生命科学インスティテュート社は、急性心筋梗塞、脳梗塞、表皮水疱症、脊髄損傷、筋萎縮性側索硬化症(ALS)に加え、2021年4月に新型コロナウイルス感染症に伴う急性呼吸窮迫症候群を対象としたMuse細胞製品「CL2020」の臨床試験を開始。
- 田辺三菱製薬社は、メディカゴ社が新型コロナウイルス感染症の予防をめざして開発している植物由来のウイルス様粒子(Virus Like Particle)ワクチン「MT-2766」について、日本において、第1/2相臨床試験を2021年10月に開始。また、メディカゴ社はカナダ等において実施していた、第2/3相臨床試験の第3相パートでの良好な結果をもとに、カナダにおいて2021年12月に承認申請を実施。

非経常項目

(億円)

	22/3月期		21/3月期 3Q累計	増減
	3Q	3Q累計		
非経常項目 合計	23	△ 7	△ 1,129	1,122
固定資産除売却損	△ 9	△ 36	△ 44	8
減損損失	△ 9	△ 28	△ 1,072	1,044
特別退職金	△ 13	△ 19	△ 54	35
工場閉鎖関連損失引当金繰入額	-	-	△ 33	33
解約違約金	-	-	△ 19	19
固定資産売却益	66	84	86	△ 2
関係会社株式売却益	-	19	9	10
持分法による投資利益	-	-	27	△ 27
段階取得に係る差益	-	-	13	△ 13
その他	△ 12	△ 27	△ 42	15

【セグメント別内訳】

機能商品	△ 24	△ 37	△ 40	3
ケミカルズ	△ 4	△ 9	△ 260	251
産業ガス	△ 0	△ 0	27	△ 27
ヘルスケア	48	32	△ 795	827
その他	3	7	△ 61	68

連結キャッシュ・フロー計算書

	財務諸表ベース		参考)*1 実質ベース
	22/3月期 3Q累計	21/3月期 3Q累計	21/3月期 3Q累計
営業活動によるCF	2,480	2,722	2,722
税前損益	2,082	△ 128	△ 128
減価償却費	1,866	1,810	1,810
営業債権債務	△ 1	△ 424	△ 424
棚卸資産	△ 1,059	461	461
その他	△ 408	1,003	1,003
投資活動によるCF	△ 1,406	△ 1,488	△ 2,188
設備投資	△ 1,827	△ 1,844	△ 1,844
資産売却	537	243	243
投融資 他	△ 116	113	△ 587
FCF	1,074	1,234	534
財務活動によるCF	△ 2,006	△ 348	
有利子負債	△ 1,417	1,028	
子会社株式追加取得	△ 4	*2 △ 985	
配当 他	△ 585	△ 391	
現金及び現金同等物の増減	△ 932	886	
為替換算差等	29	43	
現金及び現金同等物期首残高	3,496	2,282	
現金及び現金同等物期末残高	2,593	3,211	

*1 実質ベースの連結キャッシュ・フロー計算書は、説明を目的として投資活動CFに含まれる手元運用資金の影響を除いたものです。

*2 田辺三菱製薬株式の追加取得(21年3月期 △954億円)

連結財政状態計算書

	(億円)		
	21/12月末	21/3月末	増減
現金及び現金同等物	2,593	3,496	△ 903
営業債権	8,020	7,164	856
棚卸資産	6,843	5,765	1,078
その他	2,081	1,550	531
流動資産合計	19,537	17,975	1,562
固定資産	22,781	22,692	89
のれん	6,800	6,719	81
投融資等	5,460	5,486	△ 26
非流動資産合計	35,041	34,897	144
資産合計	54,578	52,872	1,706

	(億円)		
	21/12月末	21/3月末	増減
有利子負債	23,753	24,824	△ 1,071
営業債務	4,698	3,823	875
その他	9,076	8,514	562
負債合計	37,527	37,161	366
資本金・剰余金等	13,178	12,265	913
その他の資本の構成要素	301	98	203
親会社の所有者に帰属する持分	13,479	12,363	1,116
非支配持分	3,572	3,348	224
資本合計	17,051	15,711	1,340
負債・資本合計	54,578	52,872	1,706

ネット有利子負債 *1	21,159	21,328	△ 169
ネットD/Eレシオ	1.57	1.73	△ 0.16
親会社所有者帰属持分比率	24.7%	23.4%	1.3%
ROE *2	-	△0.6%	-

*1 ネット有利子負債(21/12月末)

=有利子負債23,753億円-(現金・現金同等物2,593億円+手元運用資金残高1億円)

注) 有利子負債はリース負債を含む

*2 親会社所有者帰属持分当期利益率

参考資料①

連結損益計算書 四半期別推移

為替レート (¥/\$)	109.7	107.7	109.3	109.1	107.4	105.3	104.0	107.2	109.8	110.4	114.2
ナフサ単価 (¥/kl)	45,400	40,200	41,300	44,800	25,000	30,200	31,300	38,800	47,700	53,500	60,700

(億円)

		20/3月期				21/3月期				22/3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
継続事業 *2	売上収益	9,164	9,113	9,031	8,497	7,227	7,821	8,506	9,021	9,283	9,568	10,152
	コア営業利益 *1	701	607	502	138	150	396	590	611	887	674	628
	非経常項目	△ 2	0	△ 202	△ 301	87	△ 914	△ 302	△ 143	△ 17	△ 13	23
	営業利益 (△損失)	699	607	300	△ 163	237	△ 518	288	468	870	661	651
	金融収益・費用	△ 33	△ 49	△ 77	△ 64	△ 33	△ 54	△ 48	△ 11	△ 17	△ 42	△ 41
	(内、受取配当金)	(29)	(1)	(11)	(1)	(25)	(3)	(7)	(8)	(38)	(1)	(9)
	(内、為替差損益)	(△ 3)	(7)	(△ 28)	(△ 13)	(0)	(△ 4)	(△ 3)	(31)	(△ 0)	(7)	(2)
	税引前利益 (△損失)	666	558	223	△ 227	204	△ 572	240	457	853	619	610
	法人所得税	△ 182	△ 194	△ 157	10	△ 122	91	△ 125	54	△ 261	△ 192	△ 156
	継続事業からの当期利益 (△損失)	484	364	66	△ 217	82	△ 481	115	511	592	427	454
非継続事業からの当期利益		5	164	-	-	-	-	-	-	-	-	
当期利益 (△損失)		489	528	66	△ 217	82	△ 481	115	511	592	427	454
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (△損失)		378	435	△ 50	△ 222	52	△ 549	19	402	499	353	369
非支配持分に帰属する当期利益		111	93	116	5	30	68	96	109	93	74	85
		50	31	26	27	2	9	42	76	46	50	41

*1 内、持分法投資損益

*2 非継続事業に係る数値を控除しております。

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移

		(億円)											
		21/3月期				22/3月期			(参考)20/3月期 セグメント別コア営業利益				
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	20/3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
全社	売上収益	7,227	7,821	8,506	9,021	9,283	9,568	10,152					
	コア営業利益	150	396	590	611	887	674	628	701	607	503	137	
ポリマーズ&コンパウンズ	売上収益	601	629	721	768	801	788	766					
	コア営業利益	20	26	49	55	80	38	11	55	49	33	27	
フィルムズ&モールディングマテリアルズ	売上収益	943	1,001	1,081	1,113	1,202	1,179	1,197					
	コア営業利益	52	57	103	64	153	118	72	95	97	65	23	
アドバンスソリューションズ	売上収益	690	736	812	851	828	869	859					
	コア営業利益	41	54	28	48	33	36	34	54	66	42	19	
機能商品	売上収益	2,234	2,366	2,614	2,732	2,831	2,836	2,822					
	コア営業利益	113	137	180	167	266	192	117	204	212	140	69	
MMA	売上収益	480	583	595	653	776	734	733					
	コア営業利益	△ 19	34	44	72	123	125	47	121	94	△ 4	△ 19	
石化	売上収益	933	1,070	1,289	1,506	1,604	1,718	1,899					
	コア営業利益	△ 143	△ 14	33	141	160	105	71	18	23	15	△ 44	
炭素	売上収益	444	394	464	472	539	569	646					
	コア営業利益	△ 14	△ 25	14	35	65	44	95	60	29	10	△ 18	
ケミカルズ	売上収益	1,857	2,047	2,348	2,631	2,919	3,021	3,278					
	コア営業利益	△ 176	△ 5	91	248	348	274	213	199	146	21	△ 81	
産業ガス	売上収益	1,829	1,985	2,061	2,243	2,168	2,273	2,425					
	コア営業利益	135	221	233	262	238	245	256	211	232	222	215	
ヘルスケア	売上収益	952	988	1,057	909	984	1,001	1,136					
	コア営業利益	89	45	90	△ 45	47	△ 36	35	91	12	116	△ 54	
その他	売上収益	355	435	426	506	381	437	491					
	コア営業利益	△ 11	△ 2	△ 4	△ 21	△ 12	△ 1	7	△ 4	5	4	△ 12	

*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

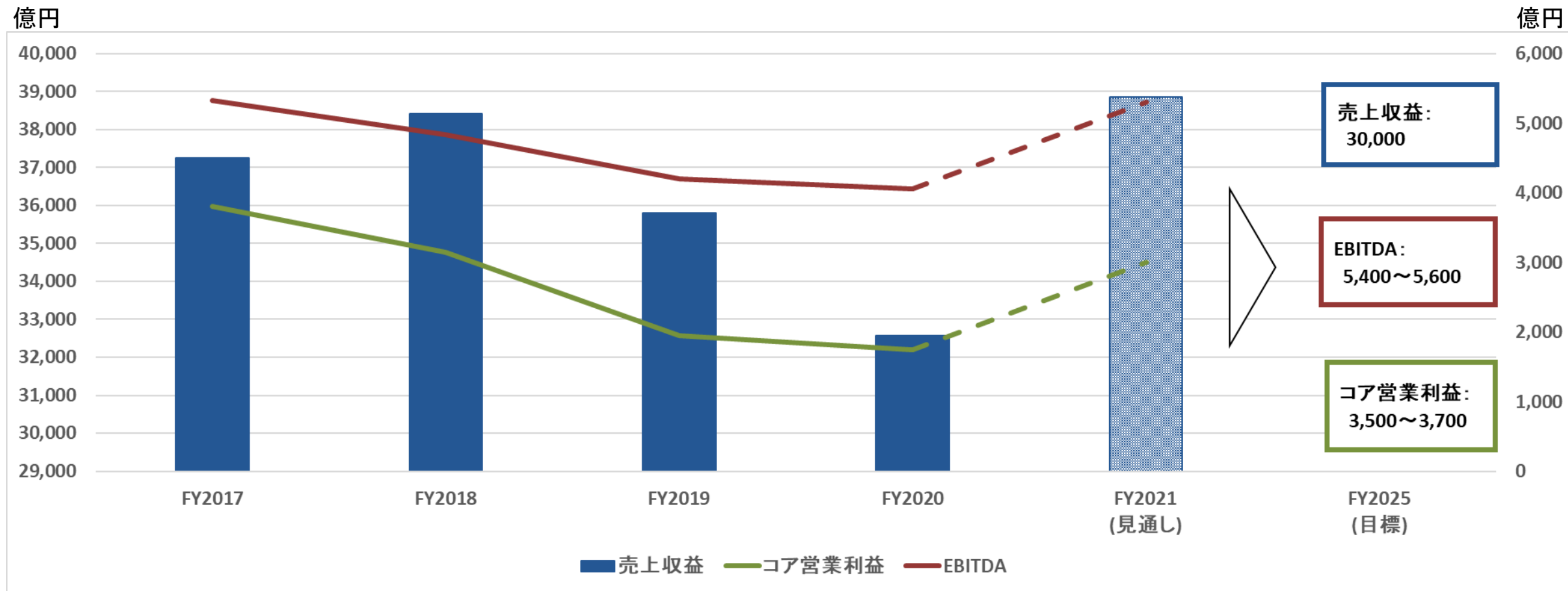
*2 21/3月期2Qにおいて、クオリカプス社についてはヘルスケアセグメントから機能商品セグメント(アドバンスソリューションズ)へ変更しております。これらに伴い、比較情報としての21/3月期実績を組み替えております。

*3 22/3月期1Qより中長期経営基本戦略「KAITEKI Vision30」における成長事業領域に対応した組織体制の構築に伴い、機能商品の内訳を従来の「機能部材」、「機能化学」の2区分から、「ポリマーズ&コンパウンズ」、「フィルムズ&モールディングマテリアルズ」、「アドバンスソリューションズ」の3区分に変更しております。同時に、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直しており、比較情報としての21/3月期実績を組み替えております。

各報告セグメントの事業部門

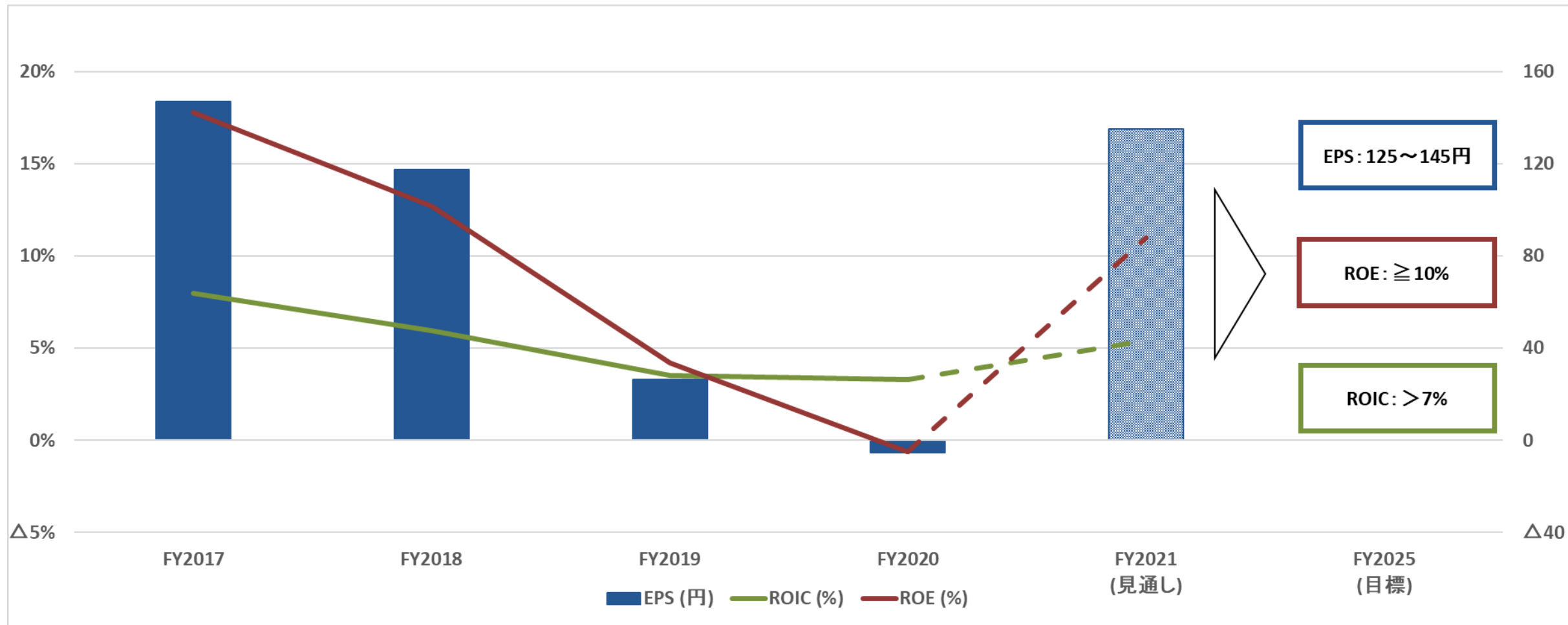
分野	セグメント	セグメント内訳	事業内容	
機能商品	機能商品	ポリマーズ &コンパウンズ	ポリマーズ	パフォーマンスポリマーズ、サステイナブルポリマーズ、アセチルポリマーズ
			コーティング・アディティブス	コーティング材、添加剤・ファイン
		フィルムズ &モールドディング マテリアルズ	フィルムズ	パッケージング、工業フィルム、ポリエステルフィルム
			モールドディング マテリアルズ	炭素繊維、アドバンストマテリアルズ、アルミナ・繊維
		アドバンスト	アメニティライフ	アクア・インフラ、ライフソリューション
		ソリューションズ	インフォメーション・ エレクトロニクス	半導体、エレクトロニクス、電池材料
素材	ケミカルズ	MMA	MMA	MMA
		石化	石化	石化基盤、ポリオレフィン、基礎化学品
		炭素	炭素	炭素
	産業ガス	産業ガス	産業ガス	産業ガス
ヘルスケア	ヘルスケア	ヘルスケア	医薬品	医薬品
			ライフサイエンス	ライフサイエンス

売上収益・コア営業利益・EBITDA推移



	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021 3Q	FY2021 (見通し)	FY2025 (目標)
売上収益 (億円)	37,244	38,403	35,805	32,575	29,003	38,860	30,000
コア営業利益 (億円)	3,805	3,141	1,948	1,747	2,189	3,000	3,500~3,700
EBITDA (億円)	5,321	4,834	4,200	4,056	3,919	5,298	5,400~5,600

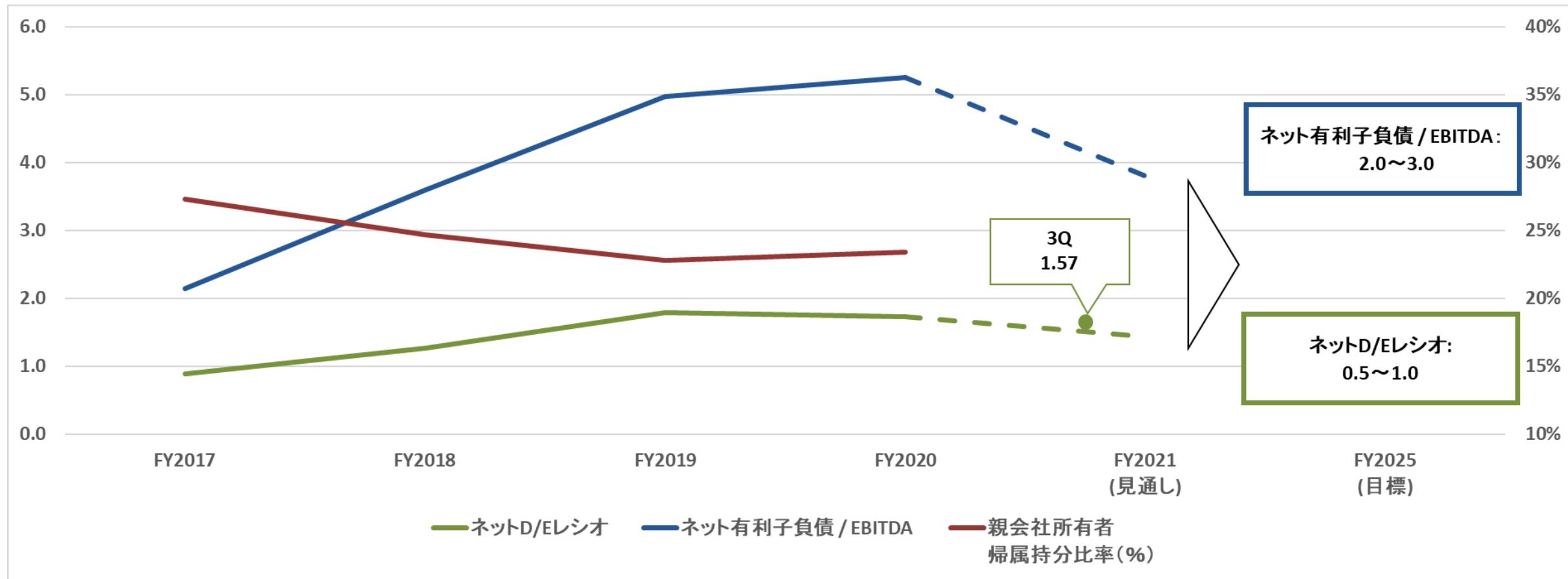
収益性指標推移



	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021 3Q	FY2021 (見通し)	FY2025 (目標)
EPS (円)	147.14	117.49	26.19	△ 5.32	85.95	*1 135.12	125~145
ROIC (%)	8.0%	5.9%	3.5%	3.3%	-	5.4%	>7%
ROE (%)	17.8%	12.7%	4.2%	△ 0.6%	-	11.0%	≥10%

*1 結晶質アルミナ繊維事業譲渡益相当額を控除して算定したEPSは108.60円です。

安定性指標推移



	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021 3Q	FY2021 (見通し)	FY2025 (目標)
ネットD/Eレシオ	0.89	1.26	1.79	1.73	1.57	1.43	0.5~1.0
ネット有利子負債 / EBITDA	2.1	3.6	5.0	5.3	-	3.8	2.0~3.0
親会社所有者帰属持分比率 (%)	27.3%	24.7%	22.8%	23.4%	24.7%	-	-

経営指標算定式

指標	算定式
EBITDA	コア営業利益－コア営業利益に含まれる持分法による投資損益＋減価償却費及び償却費
ROIC	$\text{NOPAT}(*1) / \text{期首期末平均投下資本}(*2)$ <p>(*1) $\text{NOPAT} = (\text{コア営業利益} - \text{コア営業利益に含まれる持分法による投資損益}) \times (1 - \text{税率})$ $+ \text{コア営業利益に含まれる持分法による投資損益} + \text{受取配当金}$</p> <p>(*2) $\text{投下資本} = \text{資本合計} + \text{有利子負債}$</p>
ネットD/Eレシオ	$\text{ネット有利子負債}(*3) / \text{親会社の所有者に帰属する持分}$ <p>(*3) $\text{ネット有利子負債} = \text{有利子負債} - (\text{現金及び現金同等物} + \text{手元資金運用額}(*4))$</p> <p>(*4) 手元資金運用額は、当社グループが余剰資金の運用目的で保有する現金同等物以外の譲渡性預金・有価証券等であります。</p>

参考資料②

(田辺三菱製薬 決算概要)

2021年度第3四半期 決算概要

(2021年4月1日～2021年12月31日)

2022年2月3日

2021年度第3四半期 決算概要



	2021年度 第3四半期	前年同期比較		
		2020年度 第3四半期	増減額	増減率
	億円	億円	億円	%
売上収益	2,998	2,902	+ 97	+ 3.3
売上総利益	1,482	1,430	+ 52	+ 3.7
販管費等	1,411	1,182	+ 229	+ 19.3
内、研究開発費	702	503	+ 199	+ 39.6
コア営業利益	71	247	△ 176	△ 71.2
非経常項目*	34	△ 795	+ 828	-
営業利益*	105	△ 547	+ 652	-
四半期利益（親会社帰属）*	61	△ 453	+ 514	-
期中平均レート（米ドル）	111.45円	105.54円		

* 費用・損失の場合に△と表示

売上収益の内訳



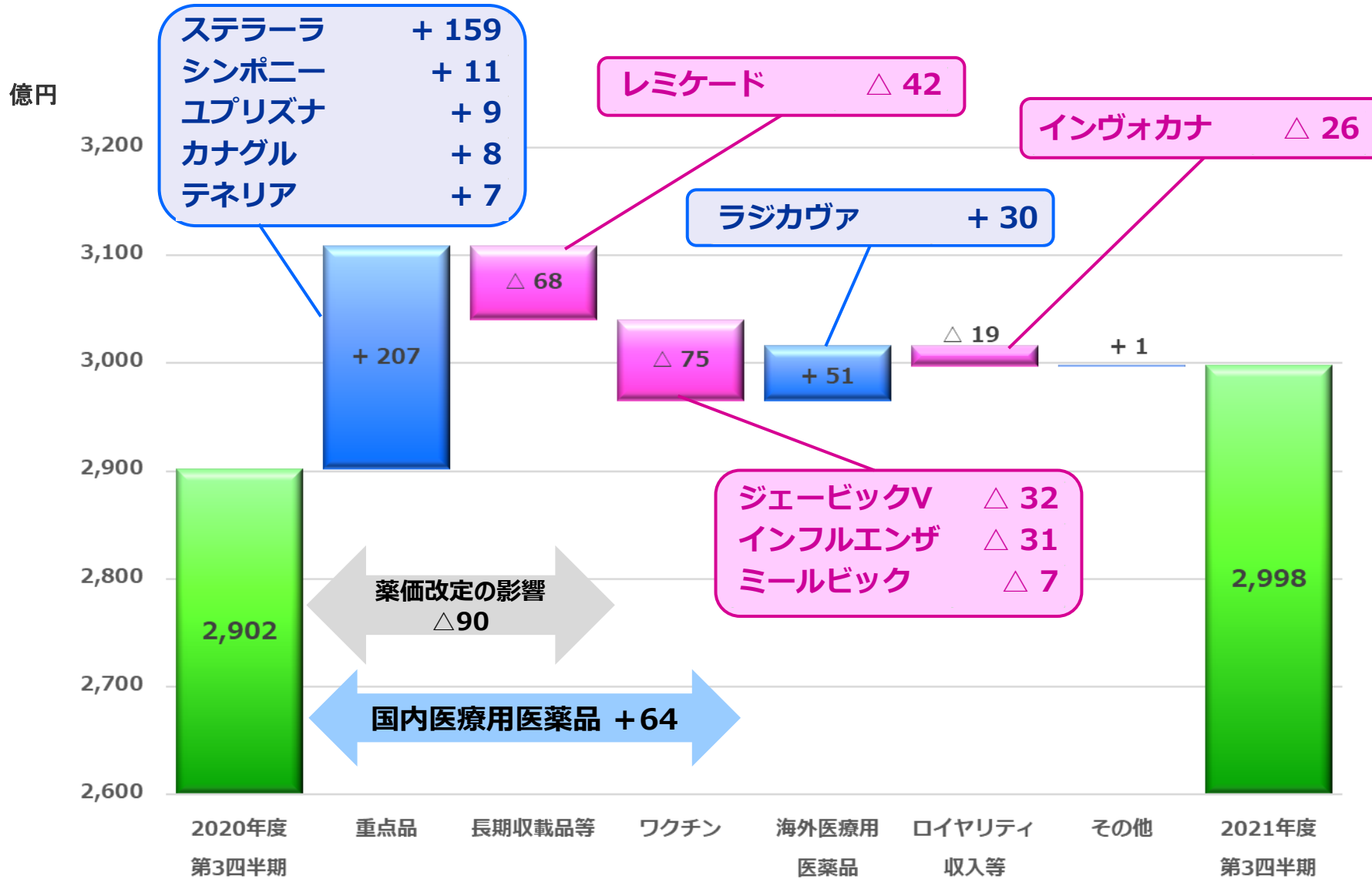
	2021年度 第3四半期	前年同期比較		
		2020年度 第3四半期	増減額	増減率
	億円	億円	億円	%
国内医療用医薬品	2,413	2,350	+ 64	+ 2.7
重点品	1,244	1,037	+ 207	+ 20.0
ワクチン	285	360	△ 75	△ 20.9
長期収載品等	885	953	△ 68	△ 7.2
レミケード	313	355	△ 42	△ 11.9
海外医療用医薬品	421	370	+ 51	+ 13.7
ラジカヴァ	189	159	+ 30	+ 18.7
ロイヤリティ収入等	105	124	△ 19	△ 15.3

重点品およびワクチン売上収益



	2021年度 第3四半期	前年同期比較		
		2020年度 第3四半期	増減額	増減率
	億円	億円	億円	%
ステラーラ	389	230	+ 159	+ 69.3
シンポニー	338	327	+ 11	+ 3.2
テネリア	125	118	+ 7	+ 5.9
カナグル	88	80	+ 8	+ 10.6
カナリア	78	75	+ 3	+ 4.1
バフセオ	7	3	+ 4	+ 113.4
レクサプロ	119	119	+ 0	+ 0.3
ユプリズナ	9	-	+ 9	-
ルパフィン	59	52	+ 7	+ 13.7
イムセラ	31	32	△ 2	△ 5.4
重点品合計	1,244	1,037	+ 207	+ 20.0
インフルエンザワクチン	107	138	△ 31	△ 22.6
テトラビック	78	82	△ 3	△ 4.2
ミールビック	43	51	△ 7	△ 14.5
水痘ワクチン	36	38	△ 2	△ 6.0
ジェービックV	12	43	△ 32	△ 73.2
ワクチン合計	285	360	△ 75	△ 20.9
重点品・ワクチン合計	1,529	1,397	+ 132	+ 9.5

売上収益の増減



研究開発の状況 等

開発進捗状況：中枢神経領域

① 中枢神経領域

治験コード	適応症 / 特徴	地域	開発段階	進捗状況（青字は今回の変更点）
MT-1186	ALS / 経口懸濁剤	グローバル*1	申請	<ul style="list-style-type: none"> 米国で承認申請が優先審査として受理（1月）
ND0612	パーキンソン病	グローバル	P3	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP3試験を実施中
MT-3921	脊髄損傷	グローバル	P2	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP2試験を実施中
MT-0551	重症筋無力症	日本*2	P3	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP3試験を実施中

*1 米国を除く他の国の開発段階はP3

*2 ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発

開発進捗状況：免疫炎症領域、ワクチン

② 免疫炎症領域

治験コード	適応症	地域	開発段階	進捗状況
MT-7117	赤芽球性プロトポルフィリン症(EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症(XLP)	グローバル	P3	・ グローバルP3試験を実施中
MT-7117	全身性強皮症	グローバル	P2	・ グローバルP2試験を実施中
MT-5547	変形性関節症	日本	P2/3	・ P2/3試験終了
MT-0551	IgG4関連疾患	日本*1	P3	・ グローバルP3試験を実施中

③ ワクチン

治験コード	適応症 / 特徴	地域	開発段階	進捗状況（青字は今回の変更点）
MT-2766	新型コロナウイルス感染症予防 / 植物由来VLP*2ワクチン	グローバル*3	申請	<ul style="list-style-type: none"> ・ カナダで承認申請（12月）、 2021年度内の実用化をめざす ・ 日本ではP1/2試験実施中
MT-2355	5種混合ワクチン*4	日本	P3	・ P3試験終了

*1 ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発

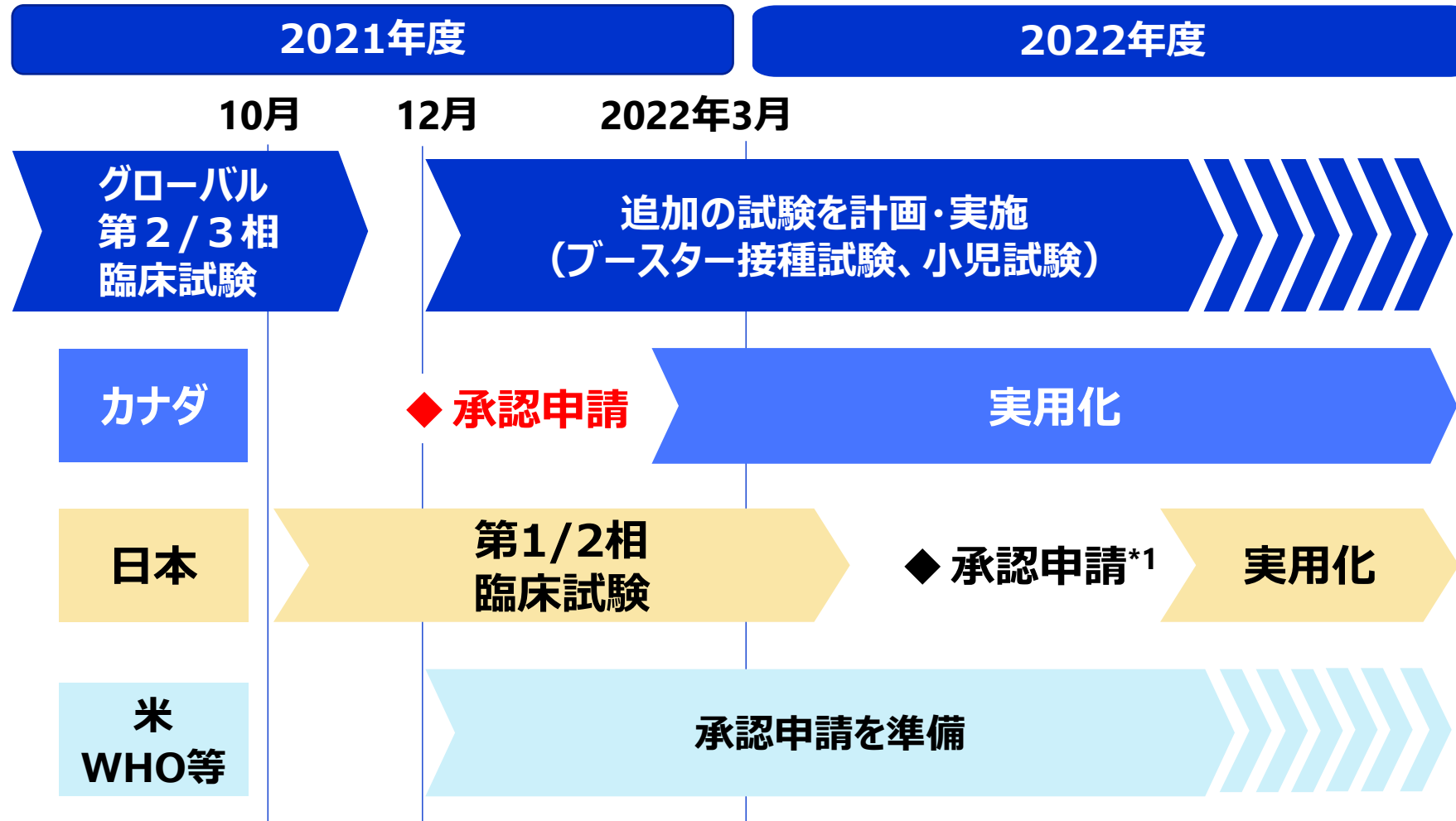
*2 VLP (Virus-Like Particle)：ウイルス様粒子

*3 カナダを除く他の国の開発段階はP3

*4 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

MT-2766（新型コロナウイルス感染症予防 植物由来VLPワクチン）

■ 世界各国での開発状況



*1 グローバル試験データと日本の試験データをあわせて申請

MT-1186 (筋萎縮性側索硬化症 : ALS)

■ MT-1186 米国で承認申請受理 (1月)

- 米国食品医薬品局 (FDA) が承認申請を優先審査として受理
- ラジカヴァ (注射剤) と同一成分の経口懸濁剤で、注射による痛みや投与のための通院など、ALS患者さんの負担を軽減し、利便性を大幅に向上

■ ALS治療薬の米国ラインナップを拡充し、 新たな治療選択肢を提供

ALS治療の
リーディングカンパニーとして成長

2022年度 MT-1186 発売予定

**MT-1186 (ラジカヴァ経口懸濁剤)
FDA が承認申請受理**

2021年度 エクサヴァン 発売
(リルゾール経口フィルム製剤)

2017年度 ALS治療薬 ラジカヴァ 発売
(注射剤)

主な開発パイプライン 一覧

2022年1月25日現在

今回の進捗



領域	治験コード	開発地域	適応症 / 特徴	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	MT-1186	グローバル ^{*1}	ALS / 経口懸濁剤					
	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-5199	日本	遅発性ジスキネジア					
	MT-0551	日本 ^{*2}	重症筋無力症					
	MT-8554	日本	末梢性神経障害性疼痛					
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症 (EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症 (XLP)					
		グローバル	全身性强皮症					
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-5547	日本	変形性関節症					
	MT-0551	日本 ^{*2}	IgG4関連疾患					
ワクチン	MT-2766	グローバル ^{*3}	新型コロナウイルス感染症の予防 / 植物由来VLP ^{*4} ワクチン					
	MT-2654	グローバル	季節性インフルエンザの予防・高齢者 / 植物由来VLP ^{*4} ワクチン					
	MT-2355	日本	5種混合ワクチン ^{*5}					
その他	TA-7284	日本	2型糖尿病を伴う慢性腎臓病					

*1 米国で承認申請（他の国の開発段階はP3）

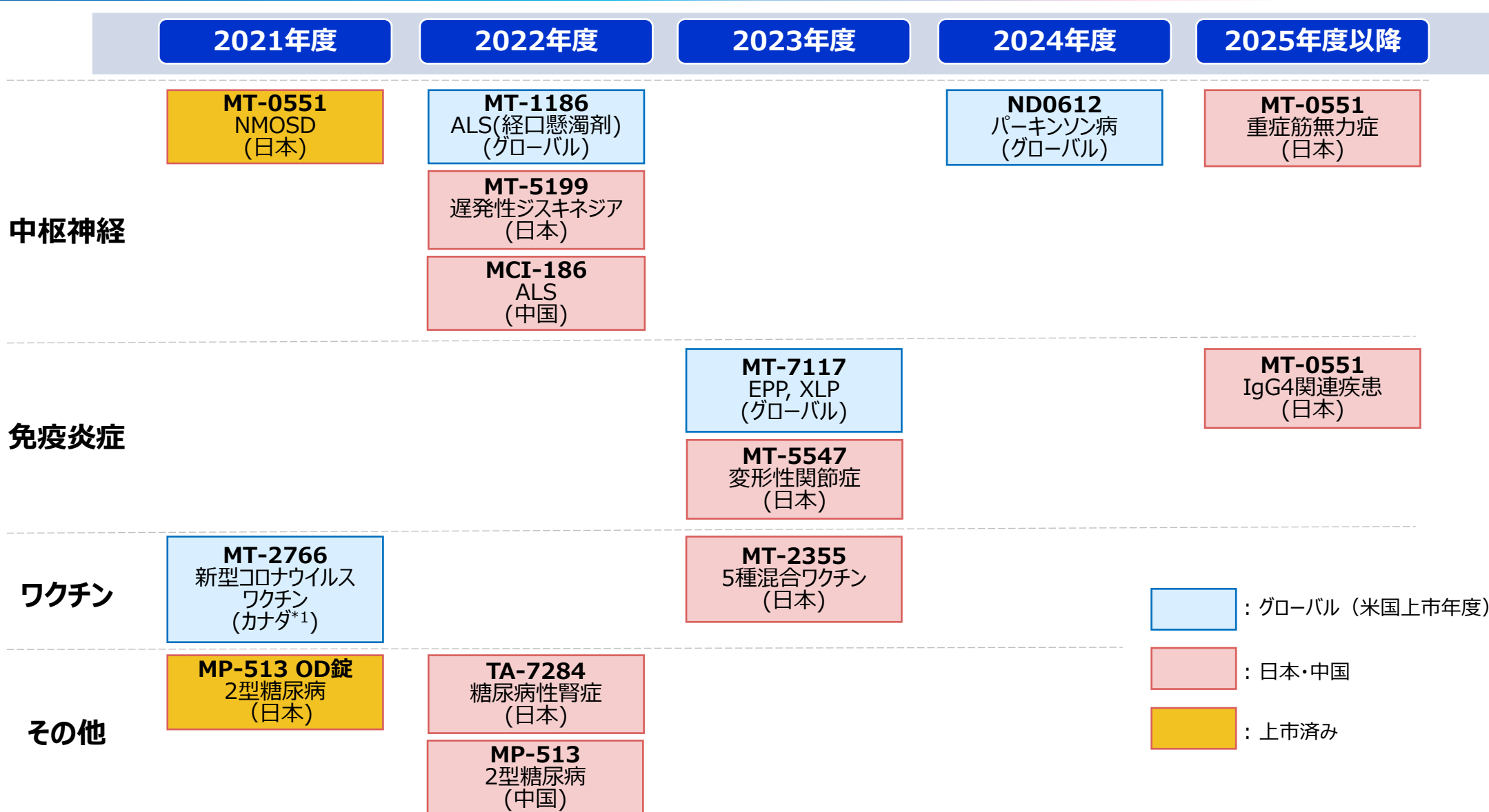
*2 ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発

*3 カナダで承認申請（他の国の開発段階はP3）

*4 VLP (Virus-Like Particle) : ウィルス様粒子

*5 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

主な開発パイプラインの上市計画



注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。

医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。



病と向き合うすべての人に、
希望ある選択肢を。

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは各種機能商品、MMA、石化製品、炭素製品、産業ガス、医薬品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。